

- 1 教育事業名 「自然体験活動指導者養成研修Ⅱ」
- 2 期 日 平成24年9月22日(土)～23日(日) 1泊2日
- 3 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 4 募集定員 30名
- 5 参加人数 30名
- 6 参加者内訳 大学生 1名、社会人 29名
(男性17名、女性13名)(県内29名、新潟県1名)
- 7 講師
 - ・細田奈々氏(育成保育カレッジ学院講師)・・・実習「体験活動の技術(野外炊飯)」
 - ・島袋徳正氏(元高等学校職員)・・・演習「体験活動の指導法(渡嘉敷の植物)」
 - ・森有紀子氏
 - ・菅田一寿氏
 - ・池松来氏 } (スノーケリングインストラクター)・・・演習「体験活動の技(スノーケリング)」
 - ・工藤剛氏
 - ・上條剛氏
 - ・内野徹氏
 - ・相澤敬二(沖縄青少年交流の家の主任専門職)・・・講義・演習「プログラムの企画立案」

8 実施プログラム

	8:00	9:00	10:00	10:30	12:00	14:00	16:30	19:00		
9月22日	一日目	泊港集合	出港	受付 開講式	講義(90) プログラム企画立案 (出合い)	実習(120) 体験活動の技術 <炊飯>	演習(120) 体験活動の指導方法 <マリン活動>	移動 夕食	講義・演習(180) プログラムの企画立案	情報交換会
9月23日	二日目	移動	演習(180) 体験活動の指導法 <渡嘉敷の植物>		昼食	演習(150) 体験活動の技術 <スノーケリング>		かたづけ 閉講式	ふりかえり	

9 事業の様子



野外炊飯での一コマ



大型カヌーでハイポーズ



スノーケリング講習の説明



渡嘉敷島の植物生態の観察



プログラム企画立案研修での発表



全員で記念撮影

10 参加者の声

- ・班を作成し、行動することでグループ内での仲間意識が強くなり、コミュニケーション力が高まった。スノーケリングはとても楽しかった。海のきれいさはとても美しかった。
- ・とても工夫がされていて、大変有意義な時間を過ごすことができた。
- ・スノーケリングが初めての体験で、とても緊張していてそれだけが心配でしたが、指導者の方に教えていただいて、だんだん恐怖心もなくなり楽しくなってきた。できないという固定観念から、体験を通して自信につながった。この体験をこれからの指導に活かせたらと思った。

11 担当者所見

本事業は、小学校で実施される長期自然体験活動の企画・立案・実施において、中心的役割を果たす全体指導者養成の講習会である。中身の濃い内容を短期間で実施したが、参加者の積極的な取り組みと、協調性のおかげでスムーズに全日程を消化することができた。特に本所の目玉である海洋研修を中心としたプログラム編成には、海に囲まれた本県で実践が期待される内容となっており、参加者からも好評を得た。

次年度に向け、さらに日程・事業内容を精選し、現場から求められる指導者養成の充実に努めたい。